

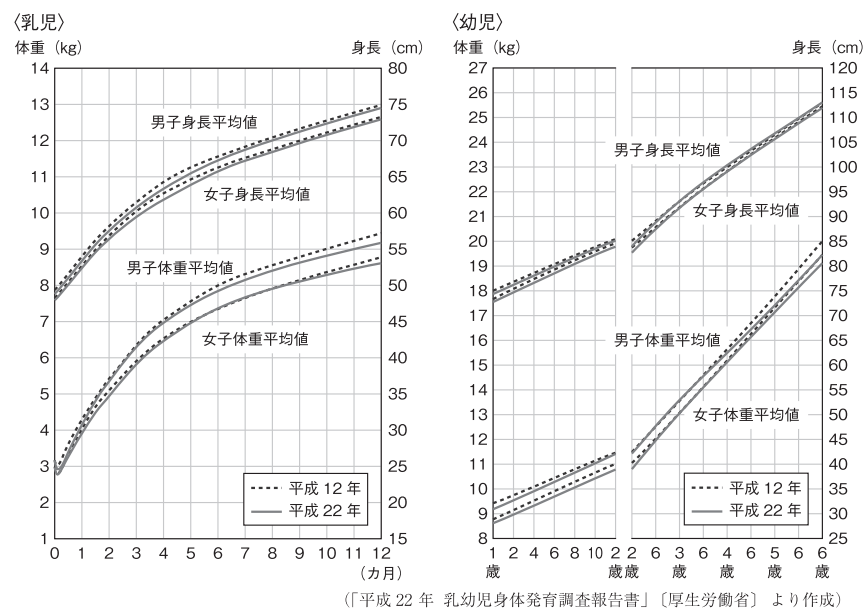
## 事例で学ぶ保育内容〈領域〉健康 補足表

平成 22 年の「乳幼児身体発育調査」(厚生労働省)に基づき、p.36～38 について下記のとおり改訂いたします。

### p.36 § 1-1. 身体 の 発 達 2 段 落 目

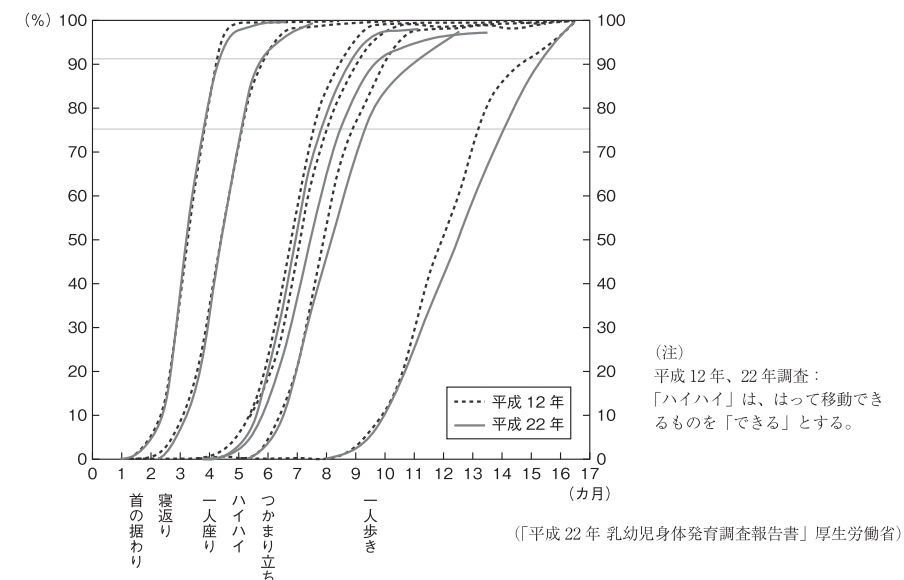
厚生労働省によれば、平成 12 年と 22 年では、体重および身長の平均値の曲線を比較すると、男子、女子ともに全般にやや減少している。これらの理由がどのような要因によるものなのかは、調査結果の概要では明らかにされていない。

【図表 2-1】 乳幼児（男子・女子）体重および身長の比較



### p.37 § 1-2-(1) 全身運動

【図表 2-3】 一般調査による乳幼児の運動機能通過率



### p.38 § 1-2-(1) 全身運動 2 段落目

厚生労働省によれば、データから次のことが読み取れる。

- ①「首の据わり」は、生後 4～5 か月未満の乳児の 90%以上が可能である
- ②「寝返り」は、生後 6～7 か月未満の乳児の 90%以上が可能である
- ③「一人座り」は、生後 9～10 か月未満の乳児の 90%以上が可能である
- ④「ハイハイ」は、生後 9～10 か月未満の乳児の 90%以上が可能である
- ⑤「つかまり立ち」は、生後 11～12 か月未満の乳児の 90%以上が可能である
- ⑥「一人歩き」は、生後 1 年 3～4 か月未満の幼児の 90%以上が可能である

各運動機能が可能となる時期を平成 12 年と比較すると、「首の据わり」と「寝返り」では前回に近い値を示しているが、これ以外では、全般的にやや遅くなる傾向が見られる。